



かわの忠正ニュース

発行所：公明党川崎市議団 発行人：かわの忠正 住所：幸区小向西町3-51 TEL 511-0687 印刷所：緑光明印刷 川崎市幸区塚越4-345-3

H23年 第5回 定例会本会議 一般質問

かわの忠正議員は12月19日、本会議で一般質問に立ち、①防災力の強化（救援物資輸送路確保策等）②川崎駅西口周辺の安全対策③多摩川施策（サイクリングコース整備）④エコオフィスの推進（LED蛍光灯の導入推進）⑤災害派遣介護チームの創設について、質問しました。

防災力の強化を!

液状化対策でボーリング調査へ

かわの忠正議員は、県の津波浸水予測図（素案）では川崎港に4mを越える津波が到達するとされた慶長型地震の津波対策、浸水対策、液状化対策、救援物資の輸送路確保策を急ぐよう主張しました。

総務局長は「本市最大の浸水想定慶長型地震でも、災害時救援物資が到着する東扇島基幹的広域防災拠点は浸水しない。液状化した場合は鉄板などを準備する」と答弁し、港湾局長は「東日本大震災では東扇島地区の一部が液状化した。今後はボーリング調査し対策を講じたい」と答弁しました。

幸町船着場を災害時の活用へ

更にかわの忠正議員は、「救援物資の輸送路の一つとして多摩川も活用し、幸町の船着き場を救援物資の荷捌きを行う中継基地として位置づけ、水深の確保など必要な対策を取るよう主張しました。総務局長は「今後は地域防災計画全体を見直す中で、船着き場を活用した帰宅困難者の移動支援や支援物資の輸送を検討する」と答弁し、建設緑政局長は「機能確保上必要な場合は浚渫を国に要望する」と答弁しました。

また防災対策について、河野忠正氏（公明）がただすと、水谷誠港湾局長は川崎区東扇島の一部で液状化が発生したことに触れ「今後、同地区の『耐震強化岸壁』と市街地とを結ぶ『臨港道路』などを優先して地盤条件を調べ、必要な対策を検討する」と述べた。

(東京新聞平成23年12月20日付)



(一般質問に立つかわの忠正議員)

川崎駅西口周辺の交通安全対策強化を!

来年度、交通量調査を実施へ!

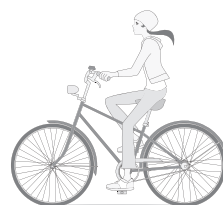
かわの忠正議員は、川崎駅西口周辺の駐輪対策の強化と、JRガード下の自転車・歩行者の安全対策を取り上げました。

建設緑政局長は「H23年平日16時台の実態調査では204台自転車が放置されていた。歩行者などの安全な通行の妨げになっている。今後はラゾーナと密接に連携を図り放置自転車対策に取り組む。休日についても実態調査を実施する。」「JRガード下の安全対策については昨年安全対策会議を設置した。今年度は4回開催した。今後は来年度、駅周辺道路の交通量調査の実施や（自転車専用道のための）車線削減の可能性を検討する」と答弁しました。

多摩川にサイクリングコースを!

多摩川大橋～幸歩道橋間の整備へ

かわの忠正議員は、未整備の多摩川大橋から幸歩道橋の区間をサイクリングコースなど整備するよう主張しました。建設緑政局長は「来年度、未接続区間を整備するための基礎調査を行う。」と答弁しました。



エコオフィスの推進

H25年度に検証結果を指針策定へ

かわの忠正議員は、市の公共施設の蛍光灯約44万本を、効率的・効果的にLED化へ急ぐよう主張するとともに、その検討結果を市民や市内事業者へ情報提供して市内のLED化を進めるよう質問しました。

総務局長は「今年度モデル事業として白熱球約7,000個をLEDに切替え、蛍光灯も本庁舎の一部などに導入した。検証結果は今年度中に取りまとめる。費用対効果なども総合的に勘案し、H25年度に「環境配慮型施設等設計指針に反映する。市民・事業者へ情報発信する」と答弁しました。

災害派遣介護チームの創設を!

かわの忠正議員は、広域災害発生時に介護職員を被災地へ派遣するチームを創設するよう主張しました。健康福祉局長は「東日本大震災被災地へ派遣した経験を活かし、県や事業者などと協議し速やかに対応する」と答弁しました。

若年世帯優先入居が実現!!

市営住宅のH23年12月募集

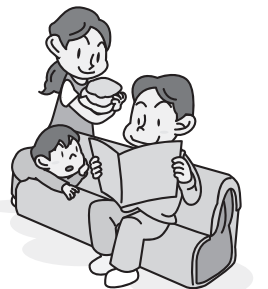
これまでかわの忠正議員が議会で取り上げてきた入居システムの改善として若年ファミリー世帯の優先入居枠が、実現出来ました。

H23年12月募集から若年世帯向けとして新たな区分が設けられました。

今回の募集では河原町住宅において35戸の募集が実施されました。

申込み資格は①同居する親族がいる②申込み者を含め同居する親族全員が40歳未満の世帯です。(共通申込資格もあります)

高齢化が進み、防犯・防災面から、自治会・住民の方などから、要望が寄せられていました。



かわの忠正議員の身近な実績フォト



プール道路の冠水対策完了!

集中豪雨やゲリラ豪雨の際、冠水していた対策として雨水貯留管が増設されました。これにより、これまでの雨量では冠水しなくなる予定となりました。(県道川崎町田線市電通りのJRガード下)



道路照明を点灯

消灯していたため暗くて危険であった道路照明を、原因調査し点灯しました。(東古市場47付近)

『市民相談室』随時開設中♪ 市政報告会もご希望に応じ随時開催!

まずは、お電話下さい。公明党川崎市議団 **かわの忠正事務所**

☎044-511-0687 川崎市幸区小向西町3-51

<http://h4.dion.ne.jp/~kawano-t/>